

# INFORMATION SECURITY REPORT 2008

キヤノンマーケティングジャパングループ  
情報セキュリティ報告書 2008

# CONTENTS

## 【目次】

2 発刊にあたって

3 情報セキュリティにかかわる主要テーマ

4 情報セキュリティガバナンス体制

4 情報セキュリティマネジメント体制

5 グループ全体での  
情報セキュリティ環境整備への取り組み

15 お客さまへの価値提供における  
情報セキュリティ品質の向上

21 第三者評価・認証

資料

【発刊にあたって】

## 「企業の社会的責任」と「お客さまへの価値提供」のための 情報セキュリティ品質の向上に向けて

キヤノンマーケティングジャパングループは、グローバルキヤノングループの一員として日本国内の市場を担当し、マーケティング活動を行っています。

情報通信技術の社会基盤化による利便性が向上するなかで、情報セキュリティに関するリスクが存在する今日、企業には適切な情報管理が求められます。

私たちは、ビジネス上の情報通信技術の活用度合いが高く、また、お客さまの個人情報や機密情報を数多くお預かりしているため、情報資産をより適切に取り扱うことが必須です。一方、私たちが提供する製品やITソリューションの多くは、お客さまのオフィスネットワーク環境に組み込むものとなっていることから、高い情報セキュリティ品質を提供する役割を担っていると考えています。

こうしたことから私たちは、「企業の社会的責任」として情報資産を適切に管理することと、「お客さまへの価値提供における情報セキュリティ品質の向上」を重要な経営課題ととらえ、グループを挙げて取り組んでいます。

具体的には、グループ全体の情報セキュリティ成熟度を上げるために、情報セキュリティガバナンス体制を整備するとともに、プライバシーマークやISMS適合性評価制度といった認証制度を活用しながらマネジメントシステムを継続的に改善しています。

特に「お客さまへの価値提供における情報セキュリティ品質の向上」を实践するうえでは、情報セキュリティに配慮した製品やITソリューションの提供に加えて、私たちの情報セキュリティの实践から生まれたノウハウを、お客さまにフィードバックすることが重要です。あわせて、そのビジネスプロセスの信頼性向上も重要であることから、営業やサービスなどの業務プロセスごとに取り扱う情報資産やリスクをしっかりと洗い出し、お客さまの視点に立って適切に取り扱うことに努めています。

つまり、私たちの情報セキュリティは、「より安全に」「より確実に」「より迅速に」お客さまの課題解決に貢献するための業務改善活動であるといえます。

本書は、このようなキヤノンMJグループの情報セキュリティの取り組み概要を、ご報告するものです。なお、お客さまの情報セキュリティ課題解決のお役に立つ製品・ITソリューションについてもご紹介していますので、是非、ご覧くださいませようお願い申し上げます。

キヤノンマーケティングジャパン株式会社  
代表取締役社長

村瀬 治男



# 情報セキュリティにかかわる主要テーマ

「グループ情報セキュリティガバナンス強化」と

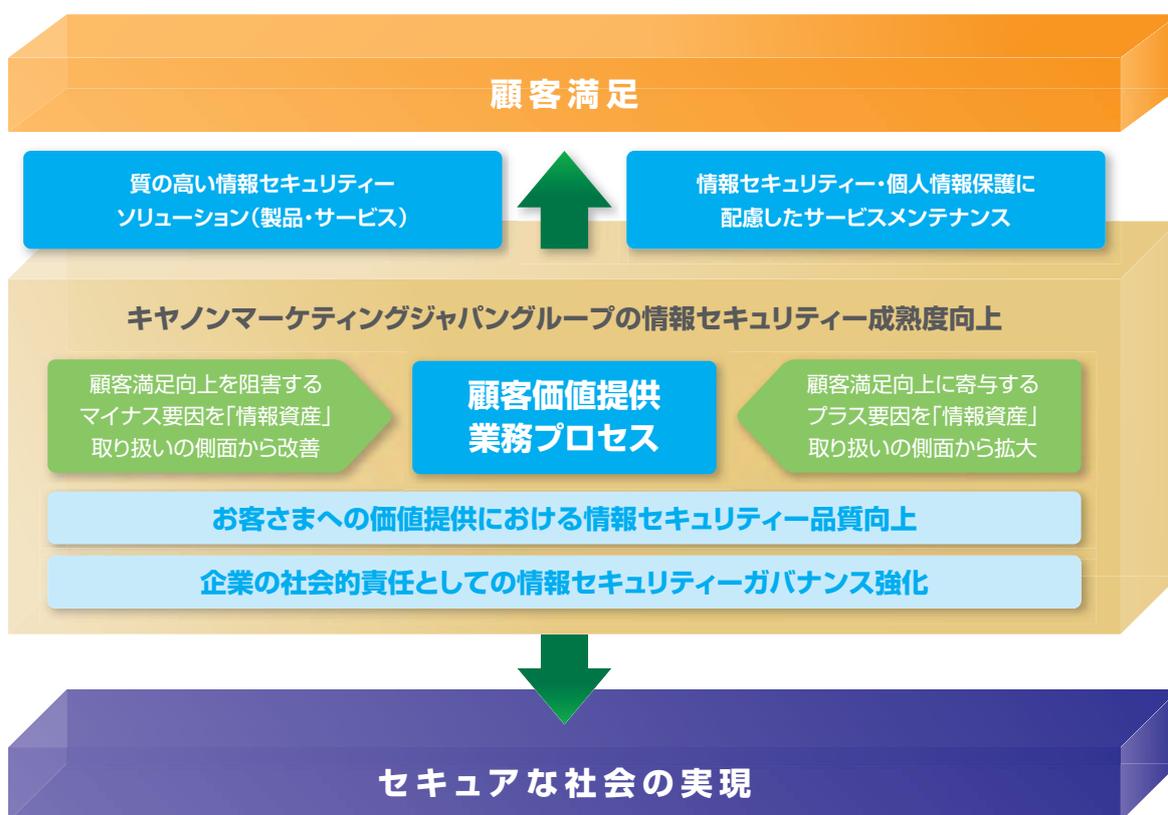
「お客さまへの価値提供における情報セキュリティ品質の向上」

キャノンマーケティングジャパングループは、「企業の社会的責任としてのグループ情報セキュリティガバナンス強化」と「お客さまへの価値提供における情報セキュリティ品質の向上」という2つの視点から、情報セキュリティを中長期の経営課題に掲げ取り組んでいます。

具体的には、お客さまとの接点を持つ企業グループとして、お客さまへの価値提供のための業務プロセスに

情報セキュリティを組み込み、業務改善を継続的に行うことによってグループ全体の情報セキュリティ成熟度の向上を図ってまいります。

こうして培った業務プロセスにて、質の高い情報セキュリティソリューションやサービス・サポートをお客さまへご提供することによって、お客さまの課題解決のお役に立ちたいと考えています。



主要注力テーマは、次の6つです。

情報セキュリティガバナンスの基盤強化

第三者認証の活用による客観的な評価と継続的改善

情報セキュリティ人材の育成

個人情報保護の継続的強化・改善

質の高い情報セキュリティ関連ソリューションの提供

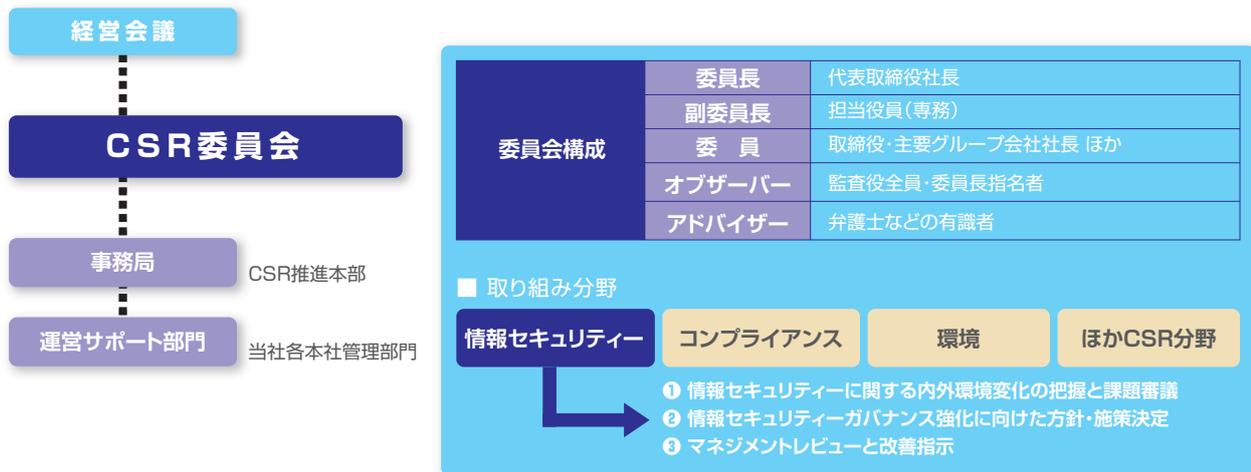
情報セキュリティ活動の積極的な情報開示

## 情報セキュリティガバナンス体制

キヤノンMJでは、2004年に「情報セキュリティ委員会」を設置しました。2007年4月からは、グループ全体の情報セキュリティガバナンスを一層強化するために、「CSR委員会」へ統合し、メンバーもキヤノンMJ全役員に主要グループ会社社長を加えました。

この「CSR委員会」では、情報セキュリティ分野の内外環境変化や重要課題の審議を行い、方針・施策の決定、レビューなどを行っています。このほかCSR全般についても同様の取り組みを行っています。

### キヤノンMJ CSR委員会と情報セキュリティガバナンス機能



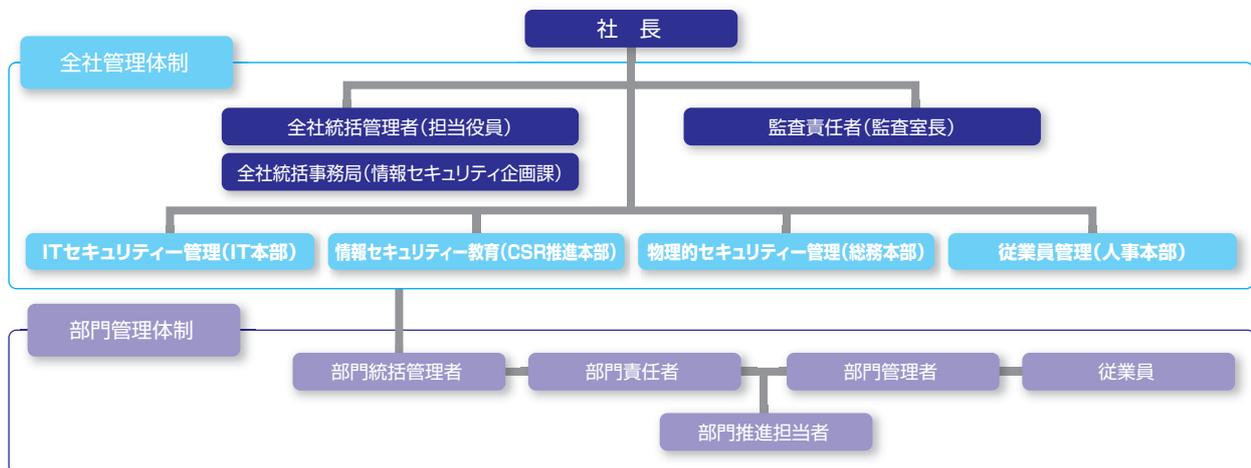
## 情報セキュリティマネジメント体制

キヤノンMJのマネジメント体制としては、2000年に専任組織「情報セキュリティ企画課」を設置し、「CSR委員会」で決定された方針・施策を、以下のマネジメント体制で推進しています。

ITセキュリティや物理セキュリティなど全社共通

の施策立案・推進は全社管理体制で行い、各事業組織は全社ルールの遵守だけでなく、業務フローごとに個人情報保護や機密情報管理の品質向上を図るよう役割分担を明確化しています。

### キヤノンMJ 情報セキュリティマネジメント体制



# グループ全体での情報セキュリティ環境整備への取り組み

キヤノンマーケティングジャパングループでは、  
情報セキュリティ環境整備に向けて次のスコープとポイントにて取り組んでいます。

## 物理的セキュリティへの取り組み

- セキュリティレベルに応じた入退管理
- ドキュメント機器の最適配置
- ICカード認証による印刷ジョブ制御・管理

## ITセキュリティへの取り組み

- グループ全体最適のITセキュリティ
- ITセキュリティ対策を実装した  
グループITインフラ整備

## グループ情報セキュリティ環境整備

## 管理的セキュリティへの取り組み

- 情報セキュリティマネジメントのためのルール体系
- 第三者認証の活用による継続的改善
- 個人情報保護における業務委託先管理
- 情報セキュリティインシデント管理

## 人的セキュリティへの取り組み

- 情報セキュリティの浸透に向けた工夫
- 情報セキュリティ教育体系
- 実践的なe-ラーニングの工夫
- 情報セキュリティ啓発活動
- 情報セキュリティ意識の高揚を支える人事評価制度

## 物理的セキュリティへの取り組み

### セキュリティレベルに応じた入退管理

私たちは、全国に点在する事業所にてさまざまな顧客接点を持つことを踏まえて、セキュリティレベルに応じた区画分けを行ったうえで、適切な入退管理を行っています。

一定のセキュリティレベル以上の区画を常時施錠し、ICカード式IDカードなどによる個人認証にて開錠するしくみを、大規模拠点を中心に実装しています。



ICカード式IDカードを用いた入退館チェック

### ドキュメント機器の最適配置

キヤノンの複合機を拠点の規模や人員数に応じて最適配置することにより、情報セキュリティの重要な要素である情報漏えいリスクの軽減（機密性）と利用効率の向上（可用性）を実現しています。

あわせて、組織・レイアウト変更時の負荷軽減や、消耗品の一元管理、ペーパーレス化によってTCOの削減にも大きな効果を発揮しています。



ドキュメントのPDF化と簡易製本印刷を実現するOAコーナー

## ICカード式IDカードによる印刷ジョブ制御・管理

キヤノンの複合機に搭載できる機能である“MEAP”の「ICカード認証 for MEAP」と「Anyplace Print for MEAP」を活用し、ICカード式IDカードによる個人認証を実装しています。

ICカードをかざして印刷指示を行うことによって、オフィスに配置されたものの複合機からでも自分の印刷ジョブだけを印刷指示できます。印刷物の取り忘れも減少し、印刷ログ管理とあわせて情報漏えいリスクの軽減効果を上げています。また、印刷の待ち行列が解消され仕事の効率も向上しています。



ICカード式IDカードを用いたセキュアプリント

## C O L U M N

### オフィスツアー

#### ■ 私たちの経験とノウハウを活かしたオフィスを公開しています。

理論だけのソリューションや机上の空論では、現実のビジネスにおける課題を解決することはできません。キヤノンMJグループは、お客さまに提供するITソリューションをモデルケースとして自らのオフィスでも実践。その効果や問題点を詳細に分析して、改善・改良を重ねることで、現実のビジネスを効率化し、お客さまの競争力を強化するITソリューションへと磨き上げています。

こうしたキヤノンMJグループのITソリューションをお客さまにも実体験していただけるのがオフィスツアーです。



#### ● オフィスツアー概要

オフィスツアーでは数あるキヤノンMJグループのITソリューション実践ノウハウのなかから、お客さまの目的に応じた内容をご用意します。



#### ● キヤノンMJグループのITソリューションを全国のオフィスツアーでご覧ください

オフィスツアーはキヤノンSタワー（東京・品川）のほかに、札幌、仙台、大阪、広島、福岡の各支店でも実施しています。情報セキュリティや環境経営といった今、多くの企業が抱えている課題に対し、日ごろ私たちがお客さまに提案しているITソリューションを使って、自らのオフィス規模に応じてどのように解決したかを、実体験をもとにご紹介しています。

## ITセキュリティへの取り組み

### グループ全体最適のITセキュリティ

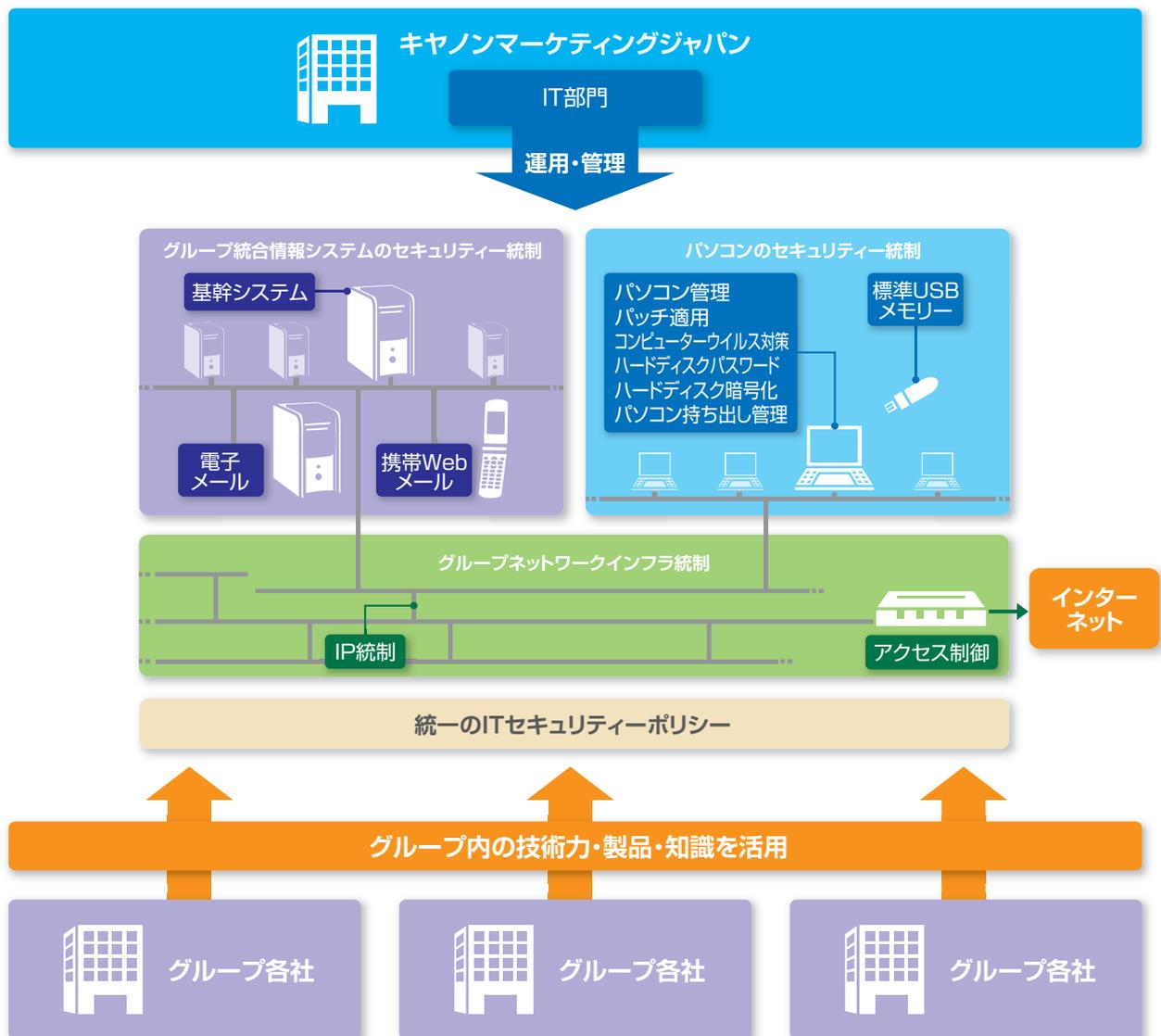
キャノンマーケティングジャングループでは、「グループITの全体最適」という考え方のもとに、グループ各社の業務システムを統合情報システムとして再構築してきました。あわせて、ITセキュリティに関するポリシーを

統一し、グループ各社が得意とするセキュリティ技術や製品・知識を活用しながら、グループ全体最適のITセキュリティを強化しています。

### ITセキュリティ対策を実装したグループITインフラ整備

キャノンMJのグループIT主管部門では、グループITインフラへのセキュリティ実装の基盤となるネットワークインフラを統制しています。また、グループ統合情報システムへのアクセス権や電子メールシステムの

セキュリティ、パソコンやメディアのセキュリティなどグループ統一で整備し、高いレベルで維持することに努めています。



## 【グループネットワークインフラ統制】

キヤノンMJグループのネットワークは、データセンターを中心にグループ全社を一つのシステムとしてインターネットでシームレスに接続しています。ネットワークに接続するすべての機器は、グループITの主管部門で集中管理しており、機器の不正接続によるコンピューター

ウイルスの持ち込みや情報漏えいのリスクを排除しています。また、グループ内ネットワークからのインターネットへのアクセスポイントは1ヵ所に限定し、グループITの主管部門にて主に次のような一括したセキュリティー対策を行っています。

- 外部からの攻撃に対する脆弱性検査
- Webアクセス時のコンピューターウイルスチェック
- Webサイトのフィルタリング
- Winnyやshareなどのファイル共有ソフトウェアによる通信のブロック

## 【グループ統合情報システムのセキュリティー統制】

### ● アクセス権管理

キヤノンMJグループ各社が使用しているグループ統合情報システム上の情報へのアクセス権管理は、グループ人事情報と連動したユーザーIDにて制御しています。このため、組織や役職といった属性に対して適切な権限を付与し、異動や退職等による従業員の属性が変化した際にも迅速に更新することを可能にしています。

### ● 統合ファイルサーバー管理

グループ統合情報システムで管理している情報以外にも、お客さまからお預かりする情報や各部門が作成する情報などがあります。これらの情報資産を組織ごとに適切に管理するために、グループITの主管部門が統合ファイルサーバーを提供しています。組織階層ごとに人事情報にもとづくアクセス権が設定されたフォルダーが、各組織に付与されます。また、サーバーのコンピューターウイルス対策やバックアップなどのセキュリティー対策も集中管理によって強固に維持しています。なお、半年に一度、不要な情報のスクリーニングなどを目的とした棚卸を実行し、ストレージの有効活用のための管理を行っています。

### ● グループ統合の電子メールシステム管理

グループ各社が使用する電子メールシステムは、グループ統合情報システムの一つとして、グループITの主管部門が管理することにより、運用コストの削減とシステムの安定稼働、セキュリティーの維持を実現しています。

統合した電子メールシステムでは、主に次のような一括したセキュリティー対策を行っています。

- 送受信するデータへのコンピューターウイルス対策
- スпамメール対策
- 送信メールのモニタリング  
(キヤノンITソリューションズの「GUARDIAN」シリーズを活用)

### ● 携帯Webメール管理

外出中でも会社が貸与する携帯電話からオフィスのパソコンと同じようにメールが確認できるよう、携帯Webメール環境を構築しています。不正アクセスへの対策として、携帯電話の固体識別にユーザーID・パスワードなどの認証情報を組み合わせたアクセス制御を実装し、通信経路上の盗聴への対策として通信をすべて暗号化しています。閲覧したメールの内容が携帯電話に残らないしくみによって、万が一の紛失時でも情報漏えいリスクが極めて低くなるように管理しています。

## 【パソコンのセキュリティー統制】

### ●パソコンのセキュリティー管理

グループ内で使用するパソコンは、機種やOS、導入ソフトウェアを標準化し、一括導入しています。

これにより、メーカーから定期的に提供されるセキュリティーパッチの効率的かつ迅速な事前検証が可能になり、パッチの適用によるシステムトラブルの危険性を回避しています。

グループ内に導入したすべてのパソコンは、Windowsドメインで管理しています。検証が完了したセキュリティーパッチは、Windowsドメインの機能を使って自動的に適用しています。パソコンのインベントリー情報やセキュリティーに関する設定情報の収集も自動化し、定期的に確認することでグループ内のセキュリティーレベルを維持しています。

### 〈具体的なパソコンのセキュリティー管理実施例〉

- OSセキュリティーパッチの自動適用
- ウィルス対策ソフトウェアの定義ファイル自動更新
- ソフトウェアのインベントリー管理
- 定期的なセキュリティー設定の確認

また、グループ内で使用するパソコンは、ハードディスクパスワードが設定できるものを選定しています。起動時のパスワード設定を義務づけることで、社内においても第三者によるパソコンの不正起動の危険性を削減し、保存されている情報へのアクセスを防いでいます。

### ●パソコンの持ち出し管理

パソコンを社外に持ち出して利用することは、移動時間を使って効率的に業務を進めることができるメリットがある一方で、紛失などによる情報漏えいのリスクが高くなります。

持ち出しを行うすべてのパソコンにキヤノンITソリューションズが取り扱う「CompuSec」を導入し、ハードディスク全体の暗号化を行っています。ハードディスクパスワードに加えてハードディスクの暗号化を行うことで、紛失時の情報漏えい対策をより完全なものにしています。

## PC社外利用申請システム



従業員がパソコンを持ち出す時は、「PC社外利用申請システム」を使って、セキュリティー設定や利用ルールを再確認し、遵守状況を自己申告します。

上長によるパソコン持ち出しの事前承認を必須にすることで、リスクの確認と責任の所在を明確にし、不要な持ち出しの防止とセキュリティー対策の実施を確実にしています。

このシステムを使うことでパソコンを持ち出す時のセキュリティー管理がこれまで以上に向上し、パソコン紛失事故の危険性を削減しています。

## 管理的セキュリティへの取り組み

### 情報セキュリティマネジメントのためのルール体系

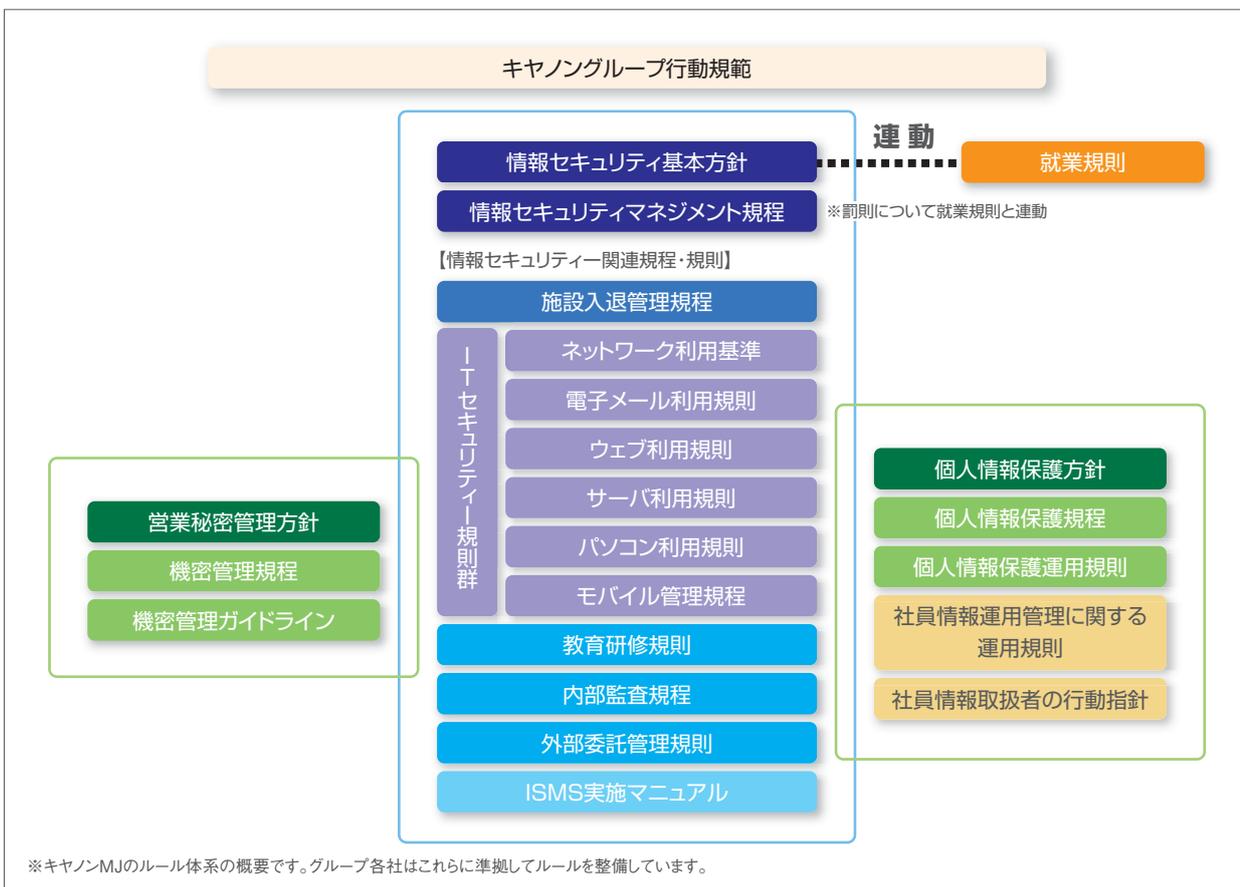
キャノンマーケティングジャパングループでは、JISQ27001:2006(ISO/IEC27001:2005)に沿って社内のISMS(情報セキュリティマネジメントシステム)を構築しています。基本フレームワークとしては、「情報セキュリティ基本方針(ポリシー)」、「情報セキュリティマネジメント規程(スタンダード)」、「ISMS実践マニュアル(プロシージャ)」を情報資産全般の管理に関する骨格としています。

個人情報と営業秘密については、重要な情報資産で

あることから、個別の方針をはじめとしたルールを整備しています。

なお、個人情報保護については、よりきめの細かい対応を図るために、JISQ15001の要求事項を満たしたPMS(個人情報保護マネジメントシステム)を構築し、ISMSとのシナジーを発揮するよう工夫しています。

それぞれの規格への適合性は、ISMS適合性評価制度やプライバシーマークの認証を通じて継続的に担保しています。



### 第三者認証の活用による客観的な評価と継続的改善

情報セキュリティ関連の第三者認証の取得は、規範として広く認められた基準にてマネジメントシステムを構築できることに加えて、第三者による定期的な評価をいただくことができるため、グループ全体の情報セキュリティ成熟度を向上させるうえで大変有効であると考えています。

情報セキュリティマネジメントシステム全体の評価と継続的改善のために、ISMS適合性評価制度の取得・維持を推進し、特に重要な情報資産であるお客さまの個人情報保護のために、プライバシーマークの取得・維持をキャノン(株)と歩調をあわせてグループ全体で推進しています。

## 個人情報保護における業務委託先管理

キヤノンマーケティングジャパングループでは、お客さまに同意いただいた利用目的を達成する範囲内において、個人情報の取り扱い業務を外部委託する場合があります。

その際、私たちは、信頼性・安全性の高い委託先を評価・選定し、機密保持契約を締結します。あわせて、委託業

務ごとに運用・リスク対策状況を書面にて確認し、個別のリスク軽減にも努めています。また、情報の授受および返却・消去の確認を書面にて行うほか、定期的に委託先の監査を実施し、委託元としての適切な管理を行っています。

## 情報セキュリティ・インシデント管理

万が一の情報セキュリティ・インシデント発生時には、適切な対応を迅速に行うために、インシデント管理体制を整備しています。

インシデント管理の重要な入り口となるのが、セキュリ

ティース象の検知です。キヤノンMJグループでは、グループITガバナンスのなかで、次の監視を行うことによりセキュリティ事象の検知を行っています。

- |                    |                       |
|--------------------|-----------------------|
| ① 電子メールのモニタリング     | ⑤ 全社サーバーへの不正アクセス監視    |
| ② Web利用状況のモニタリング   | ⑥ IPアドレスの不正使用監視       |
| ③ ソフトウェアのインベントリー取得 | ⑦ モバイル利用状況            |
| ④ コンピューターウイルスの侵入検知 | ⑧ パソコンのハードディスク暗号化実施状況 |

また、次の事象については、従業員に報告を義務づけるとともに報告ルートを整備しています。

- |                          |                             |
|--------------------------|-----------------------------|
| ●パソコンのハードウェア故障・紛失・盗難     | ●社内業務用のアプリケーションや基幹システムのトラブル |
| ●基幹システム、基幹ネットワークへの接続トラブル | ●個人情報や機密情報の漏えい              |
| ●コンピューターウイルス検知・感染        |                             |
| ●ソフトウェアのトラブル             |                             |

インシデント発生時には、発生原因の究明を行い、是正・再発防止（予防処置）を速やかに行います。万が一、個人情報や機密情報が漏えいした場合には、お客さま

への報告、お詫び、二次被害防止等の救済措置に優先的に取り組み、是正・再発防止（予防処置）などを適切に実施し、関係省庁や関係機関への報告を行っています。

### 《情報セキュリティ・インシデントの報告とお詫び》

キヤノンマーケティングジャパン(株)が受託した個人情報を含む帳票の印刷・封入・送付業務において、キヤノンマーケティングジャパン(株)の委託先会社が2名のお客さまへの送付物を互いに入れ間違えて送付する事故が2007年10月に発生しました。

事故発覚後、受託元と迅速に連携し、お客さまへのお詫びと送付物の回収を行いました。あわせて、当該事故の発生原因の特定と是正処置・再発防止（予防）処置を

実施し、委託先の管理を強化するとともに、他の同様の業務において類似事故が発生する可能性を検証し、必要な処置を実施いたしました。なお、本件事故は、関係省庁および関係機関へ報告しています。

キヤノンマーケティングジャパングループでは、お客さまにご迷惑をおかけしないよう、情報セキュリティ・インシデントの防止のための管理強化に継続的に努めてまいります。

## 個人情報データベース管理システム

キヤノンMJでは個人情報の取り扱い状況を把握し、取得から利用(業務委託を含む)、保管、廃棄までの一連の流れのプロセスにおけるリスクアセスメントが行える台帳管理のしくみを、自社独自でシステム化した「個人情報データベース管理システム」で運用しています。

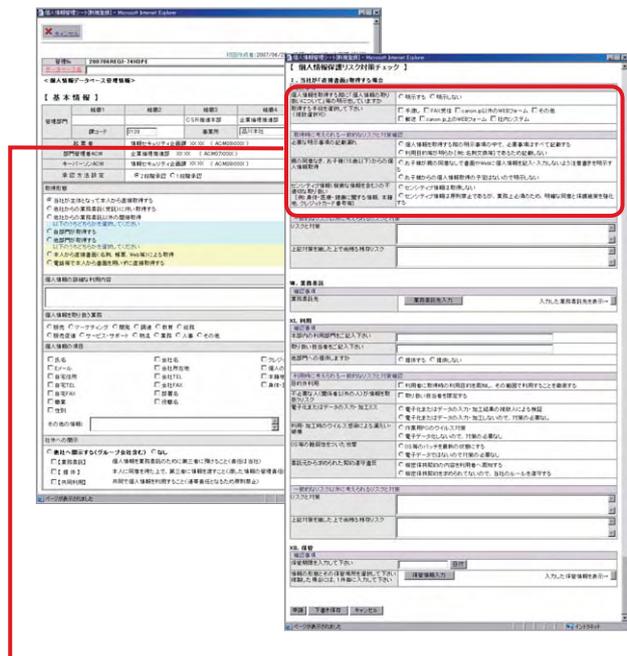
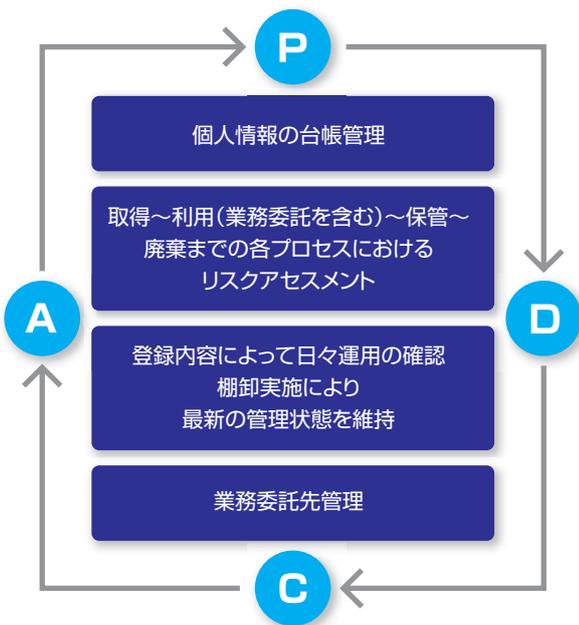
担当者は、個人情報の取り扱いを開始する前に、このシステムの新規登録画面を開き、画面に沿って入力していくことで、入力内容に応じた必要な確認項目やリスクと対策項目が動的に変化しますので、法律や規格、社内ルールを意識することなく、自然に適切な対応事項や、取得から廃棄に至るプロセス内のリスクと対策項目の確認と手続きを行うことができます。

担当者が入力を終えて申請を行うと、部門管理者→全社事務局というルートで申請内容のチェックと承認が行われ、すべての手続きが終了すると、全社管理台帳へ登録されます。

また、このシステムでは、個人情報の取り扱い業務を委託している委託先の評価や契約内容の管理も行えるしくみになっています。

システムの登録内容にもとづき、日々運用の確認を行い、個人情報保護のPDCAを継続的に改善しています。

この「個人情報データベース管理システム」は、キヤノンMJグループ各社でも利用が開始される予定です。



担当者は、取得～廃棄までのプロセスごとに個人情報の取り扱い手順を確認します。

取得する手段を選択して下さい。 (複数選択可)	<input type="checkbox"/> 手渡し <input type="checkbox"/> FAX受信 <input checked="" type="checkbox"/> Webフォーム <input type="checkbox"/> 郵送 <input type="checkbox"/> 社内システム <input type="checkbox"/> その他
----------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------



個人情報取得時の手段にWebフォームを選択するとそれに応じたリスクと確認項目を動的に表示

お客様の誤入力	<input type="radio"/> メールアドレス等入力ミスを起こす可能性の高い項目は2度入力をお願いし、システムチェックする <input type="radio"/> 受け入れ可能なリスクなため対策なし
本人からのインターネット経路上で取得する際の盗聴	<input type="checkbox"/> SSL等の暗号化環境で通信する
Webサイトの脆弱性をついたデータ採取・盗聴・改ざん	<input type="checkbox"/> Webサイトの脆弱性対策 [例:クロスサイトスクリプティング対策等] をする

選択した手順に応じて、動的に法令・規範および社内ルールに応じたリスクと対策項目が生成・表示されますので、担当者はこの内容を確認することで、適切なリスク対策および運用を実施することができます。

## 人的セキュリティへの取り組み

### 情報セキュリティの浸透に向けた工夫

情報セキュリティを業務プロセスに組み込むために、各組織ごとに情報セキュリティおよび個人情報保護に関する管理者や推進担当者、内部監査員などを配置しています。

自部門のリスクを自ら考え、マネジメントを行い、監査を通じて継続的な改善を図ることによって、情報セキュリティの取り組みを顧客満足向上のための実践的な業務改善活動として有効に活用しています。

### 情報セキュリティ教育体系

情報セキュリティ教育は、人的セキュリティの重要施策と位置づけ、情報セキュリティガバナンスとマネジメントに必要な人材を育成するために、教育体系を以下

のとおり整備し、継続的に改善をしながら、人材育成に取り組んでいます。

教育名	対象者	内容	形式
個人情報保護 情報セキュリティ 基礎教育	新入社員	個人情報保護と情報セキュリティに関する基礎知識と遵守事項の習得	集合教育 [1時間]
個人情報保護 情報セキュリティ 部門管理者教育	新任管理職	個人情報保護と情報セキュリティに関する部門管理者としての役割を習得	集合教育 [1時間]
個人情報保護 情報セキュリティ 実践教育	全役員・従業員 [社員・派遣社員]	個人情報保護と情報セキュリティに関する実践的知識を習得	e-ラーニング 設問診断形式 [30問四択]
ISMS基礎教育	ISMS 認証取得部門全員	ISMSに関する基礎的知識を習得	集合教育 [2時間]
ISMS構築者教育	ISMS部門構築者	ISMS構築の知識を習得	集合教育 [1日]
ISMS内部監査員教育	ISMS内部監査員	ISMSの内部監査の知識を習得	集合教育 [2日間]

## 実践的なe-ラーニングの工夫

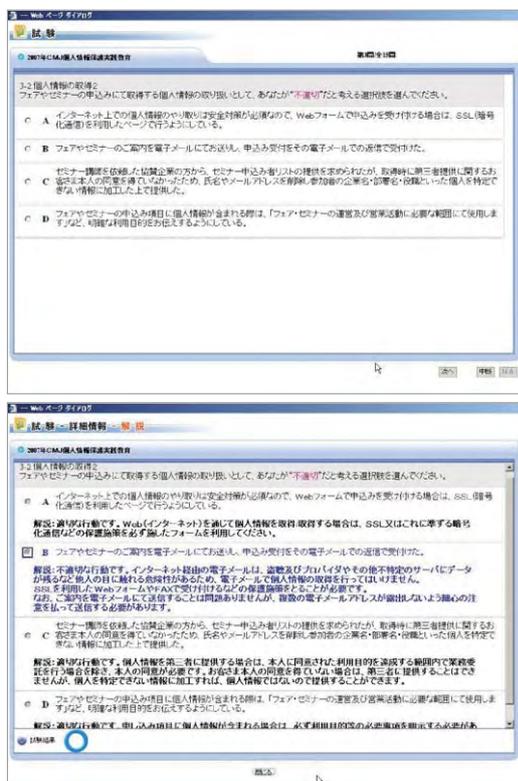
毎年行う全従業員を対象とした「実践教育」は、WBT (Web Based Training)の形態で設問診断形式という独特の教育方式を採用しています。

具体的には、画面上に表示される情報セキュリティや個人情報保護の基礎的な質問や、営業・サービスソフトウェア開発などの業務遂行上のセキュリティ対応に関する質問を読んで考え、複数選択肢から正解を選び、1問ごとに正解・不正解の結果と理由を確認するというものです。

このプロセスを自ら行い繰り返すことで、正しい知識を効果的に身につけられる点が、大きな特徴です。

この教育方式は、教材が文字データのみで作成できるため追加・改訂などが迅速かつローコストで行えること、ネットワークへの負荷が低いこと、また受講者の受講記録や理解度の把握が簡単にできるなどのメリットがあります。

## WBT個人情報保護実践教育 画面見本



## 情報セキュリティ啓発活動

キャノンマーケティングジャパングループでは、グループ全体の情報セキュリティ知識・意識の向上を目的とした啓発活動を実施しています。

具体的には、毎月発行されるグループコミュニケーション誌「Canon Frontline」への特集記事の掲載や、毎週全グループ従業員宛に配信されるメールマガジン「今週のコンプライアンス」にて、情報セキュリティトピックの周知・徹底を図っています。



グループコミュニケーション誌「Canon Frontline」特集記事



週刊メールマガジン「今週のコンプライアンス」～情報管理コンプライアンス～

## 情報セキュリティ意識の高揚を支える人事評価制度

キャノンMJグループでは、業務遂行にあたり会社が従業員に求める「価値観・行動基準」を明らかにしており、これを業績評価に加えて人事評価に反映しています。

「価値観・行動基準」の評価項目は、キャノン創業当時の行動指針「三自の精神」を核として、「仕事に対す

る価値観」「仕事に取り組む行動基準」からなる約20項目です。

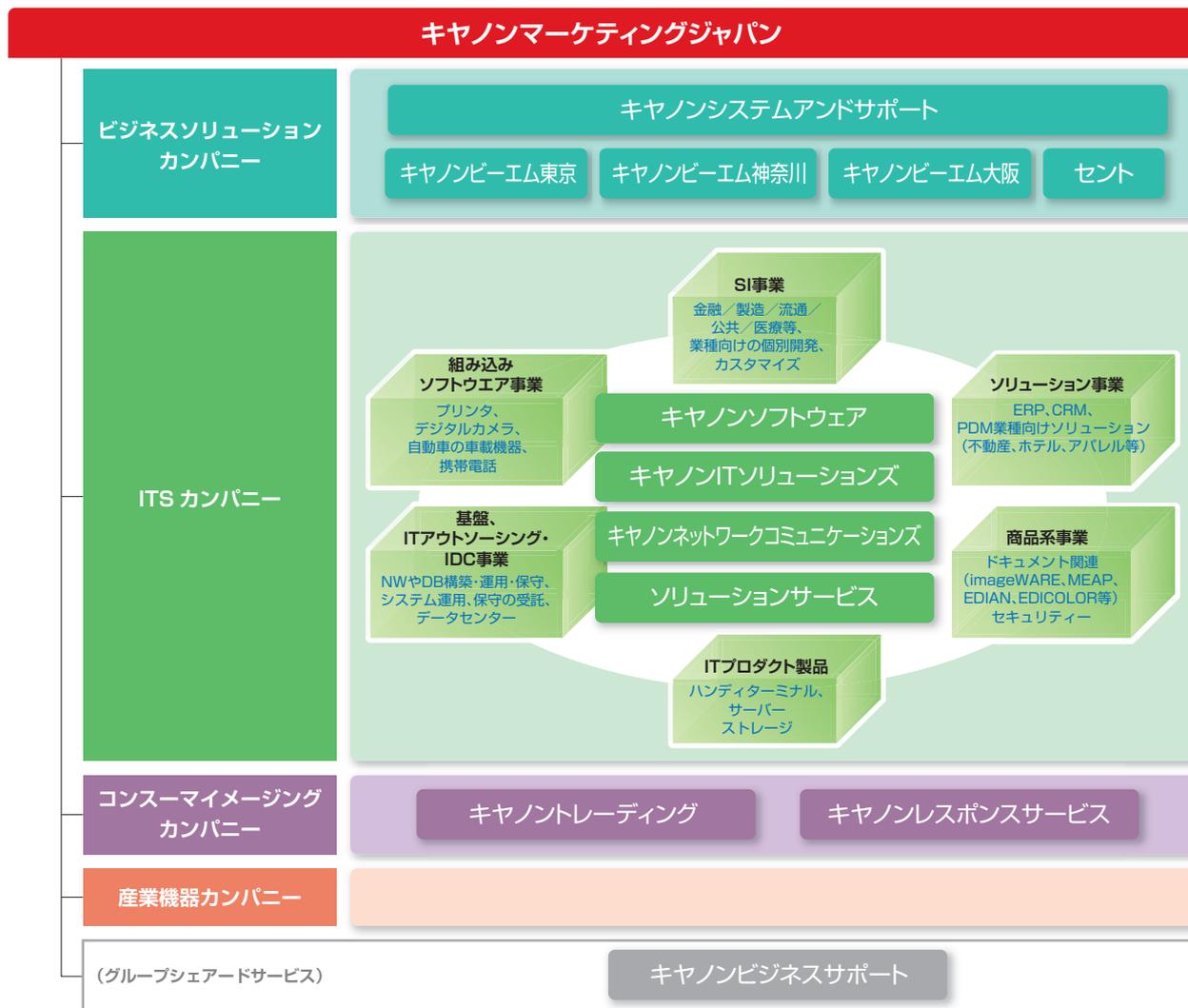
教育・啓発や就業規則にもとづく罰則の適用だけでなく、この人事評価制度によっても情報セキュリティ意識の高揚を支えています。

# お客さまへの価値提供における 情報セキュリティ品質の向上

## グループシナジーで情報セキュリティに配慮した顧客価値を創造

キャノンマーケティングジャパングループの強みである顧客接点の広さをベースに、ITソリューション分野のグループ企業が提供するお客さまの多様なニーズや課

題の解決に即したソリューションを、グループシナジーを發揮してお客さまへお届けします。



## キャノンITソリューションズ

キャノンITソリューションズは、キャノンMJグループにおけるITソリューション事業の中核を担い、より一層加速させていくためにアルゴ21とキャノンシステムソリューションズが合併して誕生しました。キャノンのビジネスソリューション分野の強みであるドキュメントの領域に加えて、業種別のSIやシステム開発、ITアウトソーシング事業など、本格的なITソリューション分野のパートナーとしてお客さまの価値創造に貢献します。これまでの経験と実績を豊富に積み上げ培った要素技術、業

務知識、プロセスマネジメントのノウハウにより、大規模かつ複雑化したシステムから中堅・中小規模のシステムに至るまで、コンサルティング・企画・設計・開発・運用・保守といったITライフサイクルすべてをカバーすることが可能です。

こうした事業活動の基盤となるクオリティとセキュリティへの取り組みは、ISO9001・ISMS認証・プライバシーマークなどの第三者認証制度を有効活用し、品質向上に努めています。

## キャノンソフトウェア

キャノンソフトグループはキャノンMJグループにおけるソフトウェア開発の中核企業として、ITソリューションのコンサルティングからシステム開発、運用・保守まで、お客さまのニーズに的確にお応えできるトータルソリューションプロバイダーです。

独自商品の開発にも積極的に取り組み、世界の先進IT企業との緊密なパートナーシップを構築し、お客さまの視点に立った質の高いITソリューションを提供する一

方で、30年にわたるキャノン製品への組み込みソフトウェア開発で培ってきたエンジニアリング技術を、他の業種・業界へも幅広く展開しています。

これらの事業の基盤となるクオリティーとセキュリティへの取り組みは、ISO9001・ISMS認証の取得に加えて、ソフトウェア開発のプロセス成熟度の向上にも注力し「CMMIレベル3」を達成し、着実な品質向上に努めています。

## キャノンネットワークコミュニケーションズ

キャノンネットワークコミュニケーションズは、キャノンMJグループにおけるビジネス・ネットワークインフラを提供する専門家集団として、豊富な知識と数々の技術にもとづく高い対応力で、ネットワークサービス・IDCサービス・キャノンデバイスソリューションなどをトータルにサポートします。

IDCサービス事業の一環として「セキュリティサー

ビス」を提供しています。信頼のデータセンターをコアとする、24時間型の高付加価値セキュリティ・アウトソーシングサービスを、ワンストップでご提供します。

こうした事業活動の基盤となるクオリティーとセキュリティへの取り組みは、ISO9001・プライバシーマーク、データセンターにおけるISMS認証などの第三者認証制度を有効活用し、品質向上に努めています。

## 全国のサービス部門でISMSを取得

キャノンシステムアンドサポート(株)

情報サービス企業として、お客さまからお預かりする情報の安全管理、さらに複合機を介したネットワーク上の機密情報のセキュリティ確保は、お客さまから信頼をいただくうえで最も重要なミッションと考えています。

キャノンシステムアンドサポートでは、2001年に品質マネジメントシステムのISO9001、2006年は個人情報保護の体制整備をしている事業者への認定制度プライバシーマークを取得し、お客さまに安心してお付き合いいただけるよう取り組んでいます。2007年には3本目の柱として、ISMS適合性評価制度の認証を、サービス部門全体で取得しました。これは、セキュリティに対してとりわけ厳しい金融機関の全国営業店への複合機導入をきっかけに、ISMSを組み込んで顧客満足度の向上を図ろうとするものです。ISMSの取得は、より迅速により質の高いサービス実現に向けた、カスタマーエンジニアの意識向上とスキルアップにつながっています。

一方、2007年7月、お客さまへ全国均質の保守サービスを提供するため、キャノンMJグループ200カ所のサービス拠点と要員を、キャノンシステムアンドサポートに統合しました。全国展開する大手企業や官公庁などのお客さまへ、きめ細かくに応えるとともに、中小規模

の企業のお客さまには、身近な相談相手として専門的な知識・技術やサービスでサポートします。

お客さまとともに歩み、お客さまに安心を提供できるベストパートナーをめざしていきます。



キャノンシステムアンドサポート(株)  
取締役専務執行役員  
後藤 憲一郎



キャノンシステムアンドサポート(株)  
常務執行役員  
君島 得宏

## 企業に最適なセキュリティ環境を提案

キヤノンマーケティングジャパングループでは、お客さまのセキュリティ課題に即したソリューションを提案しています。

### 情報セキュリティに配慮した製品・サービスの提供

今日の複合機は、単なるコピー機能だけでなく、お客さまにとって自社のネットワークを通じて、機密文書を含む紙文書のインプット&アウトプットを行う重要な情報端

末となっています。私たちは、安全で信頼性の高い製品を提供します。

#### ●複合機に搭載したハードディスクのデータ暗号化と完全消去

ハードディスクを搭載している複合機においては、ハードディスクの全データを暗号化する「Canon MFP Security Chip 1.00」を採用しているオプションボードを装着可能です。「Canon MFP Security Chip 1.00」はISO 15408認証(EAL3)を取得しており、ハードディスクに保存されているさまざまなデータを保護します。



Canon MFP Security Chip 1.00

また、コピーやプリントなどを行うと、ハードディスク内に原稿のデジタルデータが生成されます。オプションの「ハードディスクデータ上書き消去キット・A1」を装着した複合機では、このデジタルデータを、ジョブ終了と同時に自動的に完全消去することが可能です。

#### ●セキュリティ技術情報(仕様)の開示

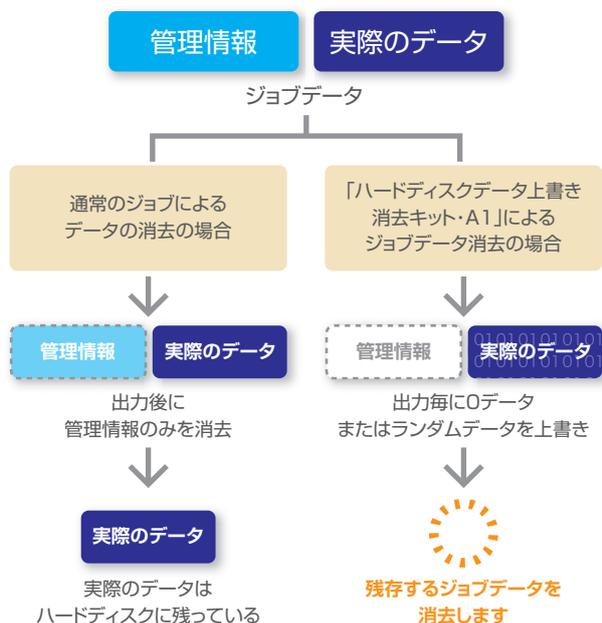
キヤノン製品(複合機など)では、機器に対して不正アクセスが行われた場合の動作や、機器内部のメモリーに蓄積された情報管理に関する仕様(SOV:Statement of Volatility)などをお客さまからのご要望に応じて開示しています。

#### ●複合機に搭載したハードディスクの破壊サービス

キヤノンの複合機に実装されたハードディスクから特に取り扱う文書の機密性の高いお客さまに対しては、複合機に搭載されるハードディスクを破壊<sup>\*</sup>し、廃棄や入れ替えの際の情報漏えいに備えるサービスも提供しています。破壊実施後は、破壊されたハードディスクの画像を添えた報告書を発行します。なお、破壊後のハードディスクはお客さまに返却するか、キヤノンMJで引き取り後、材質別に分類されプレス・溶解等の工程を得てリサイクルします。

<sup>\*</sup>本サービスにおける破壊とは、物理的にハードディスクに穴を開け、ハードディスクの再利用を限りなく不可能に近づけることをいいます。

### ジョブデータの消去



報告書イメージ

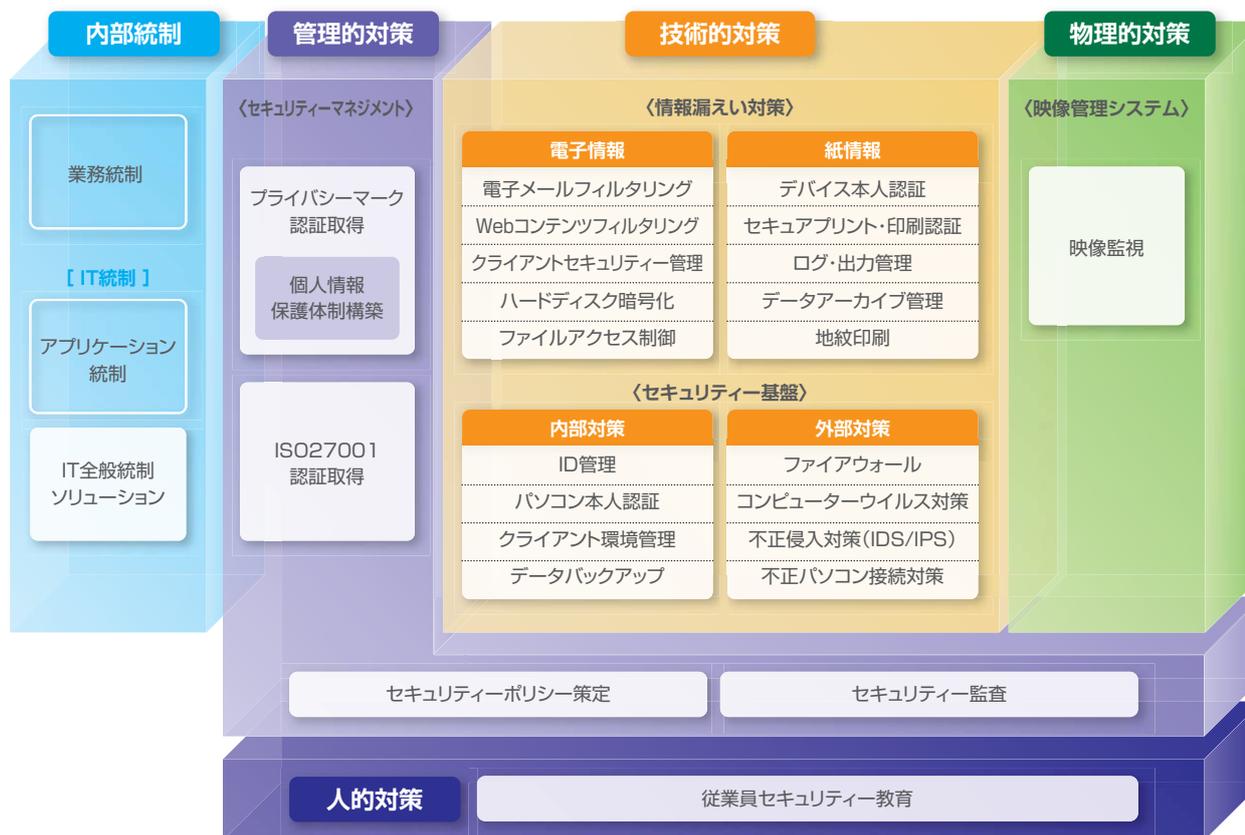


報告書における破壊後のHDD画像イメージ

## トータルセキュリティソリューションの提供 ～Canon Office Security Solution～

キヤノンMJグループでは、オフィスに最適なセキュリティ環境を提供するため「Canon Office Security Solution」コンセプトを掲げ、お客さまのセキュリ

課題に即したソリューションをトータルに提案しています。



### 【情報セキュリティ管理への支援】

#### ●情報セキュリティコンサルティングサービス

自社内で培ったノウハウを活かし、企業における情報セキュリティマネジメントシステム構築を支援するコンサルティングサービスを行っています。

現状のセキュリティレベルを診断する「セキュリティ簡易診断サービス」から、セキュリティポリシー作成を支援する「情報セキュリティ規程策定支援コンサル

ティング」、第三者認証取得を支援する「プライバシーマーク認証取得支援コンサルティングサービス」「ISO/IEC27001 認証取得支援コンサルティングサービス」などセキュリティマネジメント構築に必要なサービスを展開し、実績を挙げています。

## 【安全性の高いセキュリティーインフラ基盤ソリューション】

セキュリティーインフラ基盤の構築は、情報漏えい対策を有効かつ効率的に進めていくうえで重要な役割を果たします。この情報漏えい対策を支えるインフラ基盤への価値提供を「内部セキュリティー対策」と「外部

セキュリティー対策」に分類し、その基盤のうえに実装する具体的なソリューションを、分かりやすく提案しています。

### ●コンピューターウイルス対策ソフトウェア 「ESET NOD32アンチウイルス」

定義ファイルにない“新種のコンピューターウイルス”を検出することができる「ヒューリスティック機能」を搭載した強力なコンピューターウイルス、スパイウェア対策ソフトウェアです。驚異的なコンピューターウイルス検出率と高速スキャンを実現し、コンピューターウイルス感染防止・識別・除去の国際誌「Virus Bulletin」において、検出率100%AWARDを最多の49回(2008年4月現在)受賞した実績を誇る技術力の高いセキュリティーソフトウェアです。

開発元：ESET,s.r.o.

### ●総合セキュリティーソフトウェア 「ESET Smart Security」

「ESET NOD32アンチウイルス」にパーソナルファイアウォールと迷惑メール対策機能を搭載した総合セキュリティーソフトウェアです。



開発元：ESET,s.r.o.

### ●総合セキュリティアプライアンス「SonicWALL」

ファイアウォール、不正侵入検知・防御(IPS)、そしてゲートウェイアンチウイルス、アンチスパイウェア機能などに対応し、優れた操作性とコストパフォーマンスを実現するオールインワン・タイプのセキュリティー・アプライアンスです。



開発元：SonicWALL,Inc.

### ●統合型セキュリティアプライアンス「FortiGate」

ファイアウォール、アンチウイルス、IPSec VPN、不正侵入検知・防御(IPS)、コンテンツフィルタリング、アンチスパム機能等を、単一筐体に統合したアプライアンス製品です。独自技術「ASIC」による高速処理、導入・管理の容易さ、コストパフォーマンスによる相乗効果を提供いたします。



開発元：FORTINET INC.

### ●Windowsアプリケーションデリバリー 「Citrix XenApp」

「Citrix XenApp」は、サーバーでアプリケーションと情報を集中管理し必要に応じてエンドユーザーに配信する仮想環境を構築することで、強固なセキュリティー、管理コスト削減、生産性向上を実現するWindowsアプリケーションデリバリー製品です。

開発元：Citrix Systems,Inc.

### ●Active Directory構築サービス

マイクロソフト認定コンサルティングパートナーとして、豊富な実績を持つ認定コンサルタントによって、お客さまの業務、環境、展開フェーズに応じた、最適な導入支援サービスを提供します。

### ●IT資産管理「QND Plus」

パソコンの現状把握から台帳作成、自動インストール、脆弱性監査までをカバー。情報システム管理者の管理工数を削減し、コンピューターウイルスや情報漏えいなどのITセキュリティーリスクから企業を守ります。

開発元：クオリティ株式会社

## 【情報漏えい対策ソリューション】

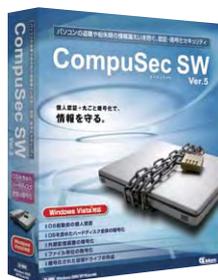
複合機やプリンターによる紙への出力情報、および、パソコン・サーバー・CD-ROMなどのメディアに電子データとして保存されている個人情報や機密情報を情報漏えいのリスクから守ります。

### ●ICカードを活用した複合機/プリンターの 認証とセキュアなプリント

キヤノンの複合機およびレーザープリンターは、ICカードを利用した認証システムによるセキュア印刷機能、印刷履歴や入出力の画像管理など、お客さまの環境や運用にあわせさまざまなドキュメントセキュリティを先進的に実現しています。具体的には、複合機やレーザープリンターにICカードをかざさなければコピー機能やファクス機能、プリンター機能が利用できない環境の構築や、だれがいつ・何枚・何を印刷したかのログ管理などが可能です。

### ●パソコンのハードディスク全体暗号化「CompuSec」

モバイルパソコンやデスクトップパソコンを対象に1台から導入可能な認証・暗号化セキュリティソフトウェアです。OS起動前に行う個人認証やハードディスクの丸ごと暗号化をはじめ、外部記憶装置や電子メールの暗号化などのさまざまなセキュリティ機能を備えます。



開発元：CE-Infosys Pte Ltd.

## 【映像監視ソリューション】

「ネットワークカメラVB」シリーズと「ネットワークレコーダーVK-64」により、コンピュータールームや文書保管室など、重要な情報が保存されている場所に対しては、人の行動を監視し、記録する、といった物理的対策を行うことが可能です。



モニタリング&レコーディングソフトウェア  
Network Video Recorder VK-64 / VK-16

ネットワークカメラ VBシリーズ



### ●電子メールフィルタリング「GUARDIANWALL」

キヤノンITソリューションズが開発・販売する国内シェア61.4%※のメールフィルタリングソフトウェアです。個人情報や知的財産の漏えいを防ぐメールフィルタ機能と、内部統制やEディスカバリー対応に重要な役割を果たすメールの可視化/保全を実現するアーカイブ機能を搭載しています。

上司や監査担当者が、保存したメールに対し、監査を簡単に実施できる機能を活用することで、メールコンプライアンスの強化が実現できます。

また、「Canonetホスティングサービス」をご利用のお客さま向けには、「GUARDIANWALL ASPサービス for Canonet」として提供しています。

※(株)富士キメラ総研 2007ネットワークセキュリティビジネス調査総覧より

### ●DRMソリューション

#### 「Adobe LiveCycle Rights Management ES」

PDFファイルの利用権限やアクセス権限などをサーバーにより一元管理することで、社内のみならず社外に配信されたPDFファイルのセキュリティポリシーを管理できるPDFドキュメント・セキュリティソリューションです。

開発元：Adobe Systems Incorporated.

## 【IT全般統制ソリューション】

キヤノンマーケティングジャパンでは、自社が米国SOX法に対応したIT全般統制を確立した事例を公開しています。IT全般統制確立の重要性とともに、ID管理、アクセス制御、データベース監視の各システム導入事例についても積極的に公開しています。

社内事例を契機に本格的にビジネスを開始し、下記のソリューションを中心にお客さまの課題に即した提案を行っています。

- ID管理(CA Identity Manager 開発元：CA,Inc.)
- アクセス制御(CA Access Control 開発元：CA,Inc.)
- データベース監視(Chakra 開発元：WareValley Co.,Ltd.)

# 第三者評価・認証

## キヤノンマーケティングジャパングループ 第三者評価・認証取得一覧

### [ISMS適合性評価制度]

(ISMS適合性評価制度認証取得企業:2008年4月1日現在)

- キヤノンマーケティングジャパン(株)
- キヤノンシステムアンドサポート(株)
- キヤノンソフトウェア(株)
- キヤノンITソリューションズ(株)
- キヤノンネットワークコミュニケーションズ(株)
- キヤノンビーエム東京(株)

※各社とも部門取得となります。順次取得部門の拡大に取り組んでいます。

※上記以外のグループ企業でもISMS認証取得活動を積極的に推進しています。



キヤノンMJ取得認定証



このマークはキヤノンMJが使用許諾を受けたものです。

### [プライバシーマーク]

(プライバシーマーク取得企業:2008年4月1日現在)

- キヤノンマーケティングジャパン(株)
- キヤノンシステムアンドサポート(株)
- キヤノンITソリューションズ(株)
- キヤノンネットワークコミュニケーションズ(株)
- キヤノンビジネスサポート(株)
- キヤノントレーディング(株)
- キヤノンレスポンスサービス(株)
- キヤノンビーエム東京(株)
- キヤノンビーエム神奈川(株)
- キヤノンビーエム大阪(株)
- キヤノンソフト情報システム(株)
- エス・エス・ジェイ(株)
- ガーデンネットワーク(株)
- (株)AIS
- (株)AES

※上記以外のグループ企業でもプライバシーマーク取得活動を積極的に推進しています。

## その他の認証

### [CMMILレベル3]

- キヤノンソフトウェア(株) 映像事務機事業部

CMMI(Capability Maturity Model Integration)とは

米国カーネギーメロン大学のソフトウェア工学研究所(SEI:Software Engineering Institute)によって開発された組織におけるシステム開発の能力成熟度モデルの統合版です。CMMIに対して、ハードウェアを含むシステム全体の開発や、製品のライフサイクルを通じて顧客の要求・期待・ニーズをより満足するための体系化された取り組み方法を統合発展したモデルです。

### [ISO9001]

(部門取得)

- キヤノンマーケティングジャパン(株)
- キヤノンシステムアンドサポート(株)
- キヤノンソフトウェア(株)
- キヤノンネットワークコミュニケーションズ(株)
- キヤノンビジネスサポート(株)
- (株)セント
- キヤノンソフト情報システム(株)
- エス・エス・ジェイ(株)

(全事業部取得)

- キヤノンITソリューションズ(株)

ISO 9001とは

ISO 9001とは、組織が品質マネジメントシステム(QMS: Quality Management System)を確立し、文書化し、実施し、かつ、維持すること。また、その品質マネジメントシステムの有効性を継続的に改善するために要求される規格です。

## キャノングループ 企業理念

# 「共生」

キャノンの企業理念は「共生」です。

共生は文化、習慣、言語、民族などの違いを問わずに、すべての人類が未永く共に生き、共に働いて、幸せに暮らしていける社会をめざします。

現在、地球上には共生を阻むさまざまなインバランスが存在しています。なかでも、貿易インバランス、所得インバランス、そして地球環境のインバランスは、解決していかなければならない重要な課題です。

キャノンは共生の実践により、これらのインバランス解消に積極的に取り組んでいきます。真のグローバル企業は、顧客、地域社会に対してはもちろん、国や地域、地球や自然に対してもよい関係をつくり、社会的な責任を全うすることが求められます。

キャノンは、「世界の繁栄と人類の幸福のために貢献していくこと」をめざし、共生の実現に向けて努力を続けます。

## キャノングループ

### グローバル優良企業グループ構想 (フェーズⅢ 2006～2010)

共生の理念のもと、永遠に技術で貢献しつづけ、世界各地で親しまれ尊敬される企業へ。フェーズⅢでは「健全なる拡大」のもと、主要な経営指標における世界のトップ100社入りをめざす。

### スローガン

“Innovation & Sound Growth”  
～革新、そして健全なる拡大を～

## キャノンマーケティングジャパングループ

### 長期経営構想(2006～2010)

#### MISSION

グローバルキャノングループの一員として、マーケティングイノベーションを継続的に行い、「くらし、しごと、社会」のあらゆる領域で、人々の創造力を支援する最高の価値を提供する。

#### VISION

視野はグローバルに、「顧客主語」を実践するエクセレント企業グループへ。

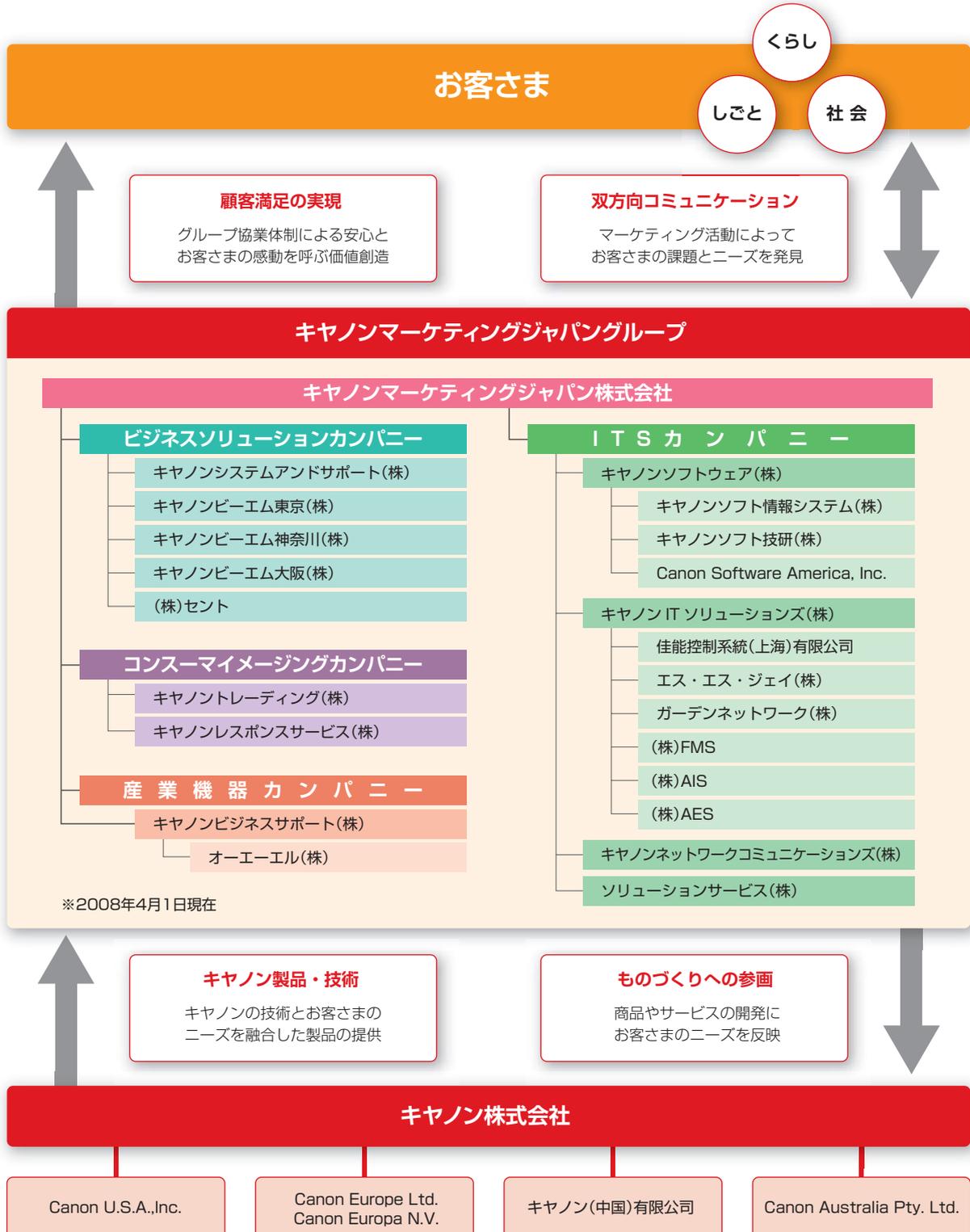
## キヤノンマーケティングジャパングループの概要

- お客さまとの触れ合いのなかから、お客さまの快適さや夢をサポートする

### キヤノンマーケティングジャパングループ

キヤノンMJグループは、お客さま接点を担う企業グループとして、キヤノン製品をコアに、お客さまの要望にあわせたソリューションを提供しています。グループ全23社が一体となった私たちのサービス&サポートは、商

品の企画から開発、販売、そしてアフターサービスやメンテナンスを含め、すべての過程において一貫した体制を構築し、お客さまの「くらし、しごと、社会」のあらゆる領域において最高の価値の提供をめざしています。



●キヤノンマーケティングジャパン株式会社

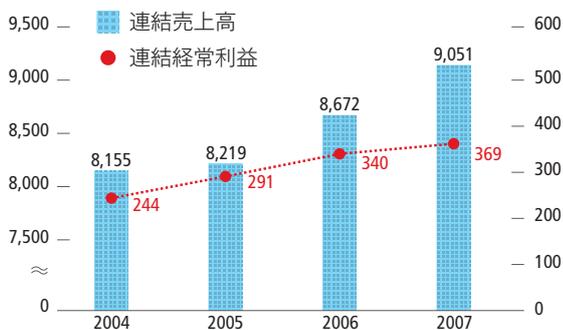
設立	1968年2月
資本金 <sup>*1</sup>	73,303百万円
本社	東京都港区港南2-16-6
上場取引所	東京証券取引所第一部(証券コード: 8060)
従業員 <sup>*1</sup>	5,849名
主要事業	キヤノン製品ならびに関連ソリューションの国内マーケティング
事業所	本社・支店・営業所50ヵ所

●グループ会社一覧

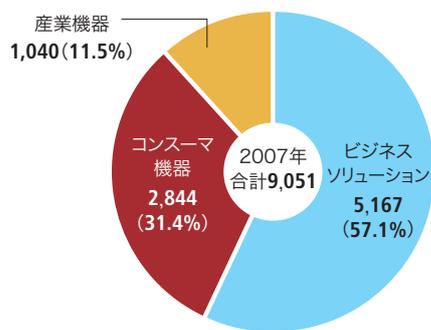
分野	会社名	設立	資本金 <sup>*1</sup> (百万円)	従業員数 <sup>*1</sup>	主要事業
	キヤノンマーケティングジャパン(株)	1968年 2月	73,303	5,849	キヤノン製品ならびに関連ソリューションの国内マーケティング
ビジネスソリューション	キヤノンシステムアンドサポート(株)	1980年 5月	4,561	5,355	BS・IT関連機器の販売およびサービス&サポート <sup>*3</sup>
	キヤノンビーエム東京(株)	1973年 6月	50	255	
	キヤノンビーエム神奈川(株)	1975年10月	30	83	BS機器の販売 <sup>*3</sup>
	キヤノンビーエム大阪(株)	1990年 4月	10	127	
	(株)セント	1953年 4月	10	194	BS機器の販売・サービス <sup>*3</sup>
ITソリューション	キヤノンソフトウェア(株)	1974年 3月	1,348	1,020	ビジネスアプリケーションソフトウェアのコンサルティングから開発、製品組込ソフトウェアの開発
	キヤノンソフト情報システム(株)	1983年 7月	426	218	通信系・制御系のソフトウェア開発・販売
	キヤノンソフト技研(株)	1991年 5月	80	127	製品組込ソフトウェアの開発
	Canon Software America, Inc.	1988年 6月	80万ドル	14	ビジネスアプリケーションソフトウェアの開発
	キヤノンITソリューションズ(株)	1982年 7月	3,617	2,616	SIおよびコンサルティング、各種ソフトウェアの開発・販売
	佳能控制系统(上海)有限公司	1997年 6月	100	118	SIおよびコンサルティング、各種ソフトウェアの開発・販売
	エス・エス・ジェイ(株)	1986年12月	420	114	ERPパッケージの企画・開発・販売
	ガーデネットネットワーク(株)	2004年 7月	350	13	石油販売業向けASPシステムの運用、決済関連事業
	(株)FMS	1972年10月	96	113	医療システム(レセコン、電子カルテ、健診等)の開発・販売
	(株)AIS	1985年10月	100	164	BPO(ビジネス・プロセス・アウトソーシング)、人材派遣、人材紹介
	(株)AES	2002年 8月	50	20	人材育成サービス
	キヤノンネットワークコミュニケーションズ(株)	1976年 6月	611	280	基盤系ITサービスを中心としたITマネジメント事業
ソリューションサービス(株)	2002年 2月	30	20	サーバー・ネットワークのサポートサービス	
シェアードサービス <sup>*2</sup>	キヤノンビジネスサポート(株)	1997年 9月	100	867	グループのシェアードサービス業務
	オーエーエル(株)	1976年 3月	50	55	運送事業、倉庫内商品管理、メール事業
職域・通信販売	キヤノントレーディング(株)	1989年12月	30	36	キヤノン製品および輸入商品の販売
レスポンスサービス	キヤノンレスポンスサービス(株)	1996年 4月	50	123	キヤノン製品および関連機器のコールセンター業務

※1 資本金、従業員数は2007年12月31日現在(キヤノンITソリューションズの従業員数は<旧>キヤノンシステムソリューションズと、<旧>アルゴ21を合算)  
 ※2 シェアードサービス: 同一グループ内の複数の組織で実施されている共通業務を集中化して、サービスの向上とコスト削減を図る仕組みのこと  
 ※3 BS機器: 複合機・コンピューター機器・その他(BSはビジネスソリューションの略)  
 ※ キヤノンスター(株)は、米国スターサージカル社100%資本のスタージャパン(株)へ社名変更しました  
 ※ キヤノンビーエム東京(株)・キヤノンビーエム神奈川(株)・キヤノンビーエム大阪(株)は、2008年7月1日に、キヤノンシステムアンドサポート(株)と合併する予定です

キヤノンMJグループ 連結売上高/連結経常利益 (億円)



キヤノンMJグループ 連結部門別売上構成 (億円)



## キヤノンマーケティングジャパン 情報セキュリティ基本方針

キヤノンマーケティングジャパン株式会社(以下「当社」といいます)は、キヤノングループ共通の企業理念「共生」の下、マーケティングイノベーションを継続的に行い、「くらし、しごと、社会」のあらゆる領域で、人々の創造力を支援する最高の価値を提供するための事業活動を展開しています。

当社は、この事業活動において、情報資産を適切に取り扱うことがお客様さまへの価値提供と企業の社会的責任の観点から重要な経営課題と認識し、以下の方針に基づき情報資産の有効活用と保護に努めます。

### 方針

- 1.法令及び規範並びに契約上の要求事項の遵守  
当社は、日本国の情報セキュリティに関する法令、国が定める指針その他の規範、並びに契約上のセキュリティ義務を遵守します。
- 2.情報セキュリティマネジメントシステムの確立と実施及び継続的改善  
当社は、キヤノン製品ならびに関連ソリューションの国内マーケティング活動の円滑な遂行を、情報セキュリティの側面から支えるためのマネジメントシステムを確立し、実施し、継続的に改善します。
- 3.教育の実施  
当社は、全ての役員、従業員および当社業務に従事する者のうち必要と認められた者が、情報資産の正しい取り扱いに関して倫理はもとより、変りゆく環境に常に適合する感覚や知識およびスキルを持ち、行動するための情報セキュリティに関する教育を実施します。
- 4.事業継続管理  
当社は、製品・サービス提供プロセスの中断を引き起こし得る情報セキュリティリスクを、特定、評価し、実効的なセキュリティの対策を講じるとともに、災害や事故等による事業停止に対する復旧手順を確立し、事業継続管理に努めます。
- 5.違反に対する処置  
当社は、本方針に違反した者に対し、厳正な処置を行います。

制定日 2007年8月1日  
キヤノンマーケティングジャパン株式会社  
代表取締役社長 村瀬 治男

(※この方針は、2001年に制定した「情報セキュリティポリシー」を見直し、制定しました。)

## キヤノンマーケティングジャパン 個人情報保護方針

キヤノンマーケティングジャパン株式会社(以下「当社」といいます)は、キヤノングループ共通の企業理念「共生」の下、マーケティングイノベーションを継続的に行い、「くらし、しごと、社会」のあらゆる領域で、人々の創造力を支援する最高の価値を提供するための事業活動を展開しています。

当社は、個人情報をこの事業活動に欠かすことの出来ない重要な情報資産として認識し、社会的責務の一つとして以下の方針に基づき、ご本人のプライバシー尊重のために個人情報の保護に努めます。

### 方針

- 1.個人情報保護に関する法令およびその他の規範遵守  
当社は、日本国の個人情報の保護に関する法令、国が定める指針その他の規範を遵守します。
- 2.個人情報保護マネジメントシステムの確立  
当社は、キヤノン製品ならびに関連ソリューションの国内マーケティング活動において、利用目的を特定した上で個人情報を取得し、その利用目的の範囲内で利用するとともに、適切な委託、提供、廃棄等の取扱いを行うために個人情報保護マネジメントシステムを確立します。
- 3.個人情報保護マネジメントシステムの実施と継続的改善  
当社は、本方針を始めとした個人情報保護マネジメントシステムを全ての従業員に周知します。  
当社は、個人情報保護マネジメントシステムを実施し、監査し、継続的に改善します。
- 4.個人情報の正確性・安全性の確保  
当社は、個人情報の正確性および安全性を確保するため、取扱う個人情報のリスクに応じ、物理的セキュリティ、情報通信技術的セキュリティ、管理的セキュリティ、人的セキュリティの側面から合理的な安全対策を講じて、個人情報への不正アクセス、個人情報の紛失、破壊、改ざん、漏洩等の防止および是正に努めます。
- 5.苦情および相談への対応  
当社は、個人情報の取扱いおよび個人情報保護マネジメントシステムに関して、苦情や相談およびご本人からの個人情報の利用目的の通知、開示、訂正、追加または削除、利用または提供の拒否に関する依頼を受け付けて、適切、かつ、迅速な対応を行います。

制定日 2002年 4月 1日  
改定日 2005年11月2日  
2007年1月25日  
キヤノンマーケティングジャパン株式会社  
代表取締役社長 村瀬 治男

## 当報告書の基本情報

### 対象期間

本報告書は2007年12月までの情報セキュリティに関する活動や取り組みを対象としています。

### 対象会社

キヤノンマーケティングジャパン株式会社および  
キヤノンマーケティングジャパングループ会社  
※キヤノンビーエム東京(株)・キヤノンビーエム神奈川(株)・  
キヤノンビーエム大阪(株)は、2008年7月1日に、キヤノン  
システムアンドサポート(株)と合併する予定です。

お問い合わせ先

キヤノンマーケティングジャパン株式会社 CSR推進本部 企業倫理推進部 情報セキュリティ企画課

〒108-8011 東京都港区港南2-16-6 CANON S TOWER

TEL : 03-6719-9032 FAX : 03-6719-8360

**Canon**

キヤノンマーケティングジャパングループ